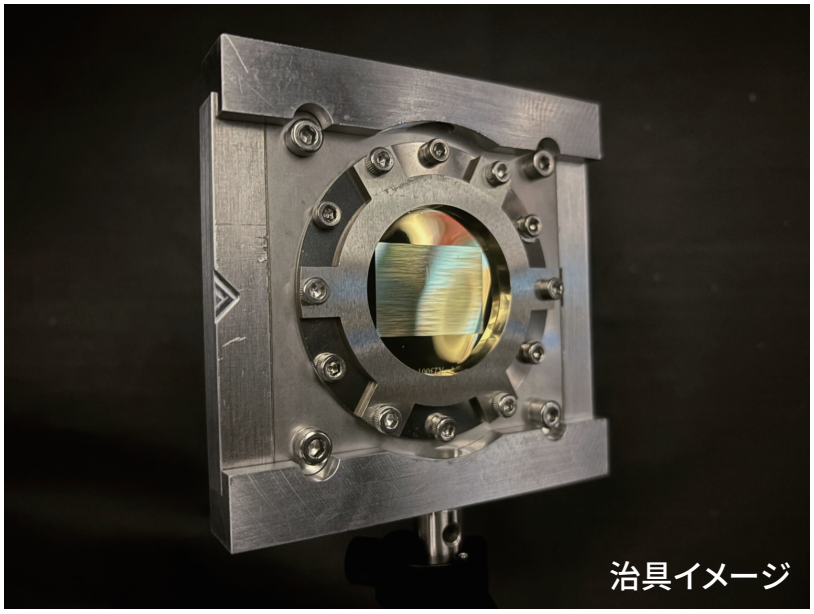
NTT AT

レーザ加工用反射型ビームシェイパ

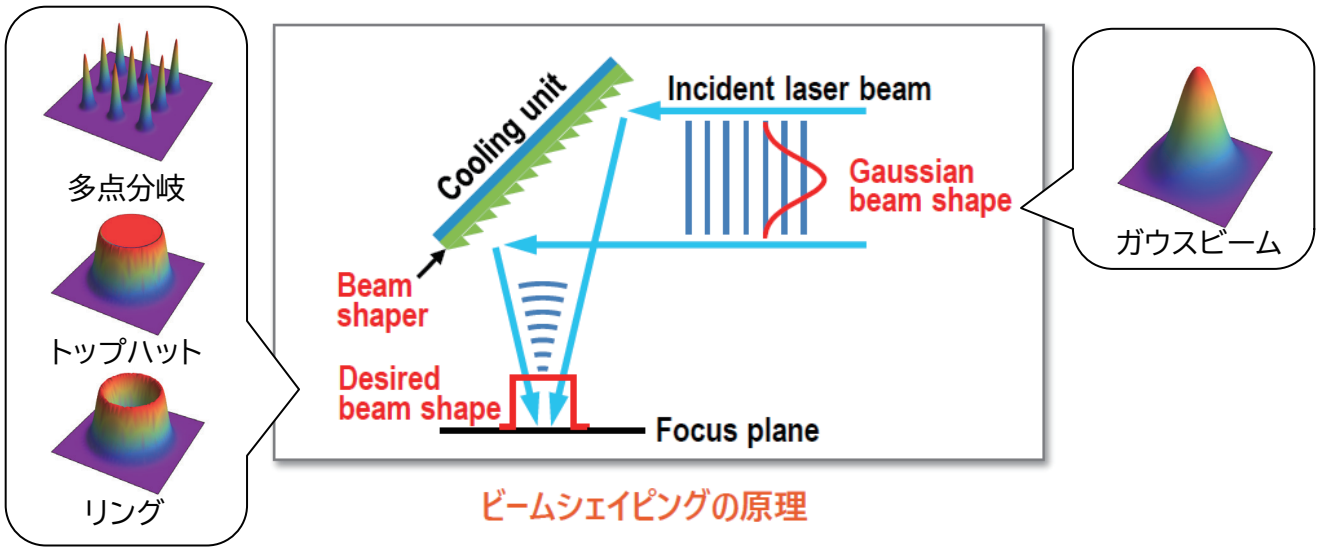
ハイパワーレーザ用ビームシェイパ

10kW超級のハイパワーレーザに対応可能な光反射タイプのビームシェイパ



光反射タイプの回折素子

一般的にビーム形状の変換に使われる透過型のビームシェイパ(Diffractive Optical Element: DOE)では、発熱の影響により高出力レーザへの適用ではその性能を維持することができず、使用範囲が限定されています。
NTT-ATの反射型のビームシェイパは、冷却ユニットを使用して素子を直接冷却できるため、10kW超級のハイパワーレーザでも性能を発揮できます。



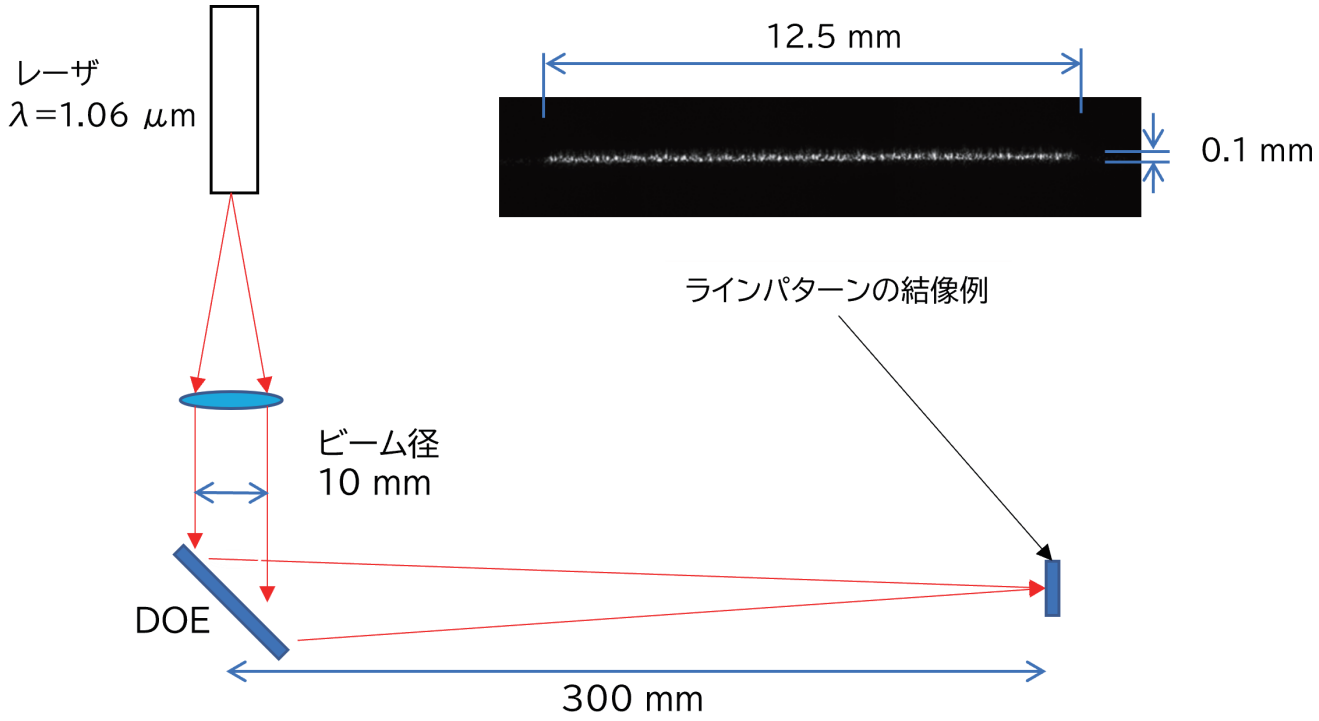
ビームシェイピングの原理

応用

レーザ加工用：

・切断／穴あけ／溶断／アブレーション／3Dプリント／マーキング／アニーリング…その他

例



主な仕様

項　目	仕　様
ビーム形状	ライン、四角、円、円環、多点（分岐点） etc.
レーザ波長	355 ～ 10,600 nm
レーザパワー	～10 kW（要相談）
入力ビーム径	10 mmφ（要相談）
入射角	45°（要相談）
形状（パターン面積）	20 mm × 28 mm
基材	金属, Si, SiC

※上記は一例です。上記以外のビームパターン、光学設計、波長などについても承りますので、ご相談ください。

お問い合わせ
TEL:046-250-3771　E-mail:ktn@ml.ntt-at.co.jp
https://keytech.ntt-at.com/optic2/prd_4110.html

※記載された社名、ロゴ、各製品名等は、各社の商標または登録商標です。※仕様は予告なく変更される場合があります。※カタログ記載内容 2026年4月現在

NTTアドバンステクノロジ株式会社